

新 緑

No112 日本共産党高取支部発行

2024年2月

なんでも相談

子育て・介護・その他困っている事等
気軽にご相談ください。

高取町議会議員

新沢あけみ TEL 0744-52-4408

メール an330317@aurora.ocn.ne.jp



令和5年12月議会 新沢あけみ議員の一般質問

(質問) タクシー券の利
用に関する声を聞き取り、
高齢者の移動手段について
再検討を

スーパーの撤退により、
「買い物が大変になった」
という声が多く届いていま
す。また、「タクシーの予
約が取れない」「駅まで車
で乗せてくれたら」「タク
シー券は本当にありがた
い、不足分の負担が重い」
など様々な声が届いていま
す。住民の声、実態を調査
し、買い物ツアアの拡充、
タクシー券の増刷、或いは
別の方法による移動手段を
検討するよう求めました。

(回答) 買い物ツアアの申
し込み超過があれば拡充を
検討します。タクシー事
業所の実情を把握すると
もに、委託先の増加に繋が
ります。(12月議会では、
タクシー利用者の増加を見
込んで、事業費240万円
増額)

(質問) 介護保険料の引
き下げのため、準備基金
の取り崩しや段階の細分
化検討を

介護保険料は、3年毎に
見直しがあり、第7、8期



(回答) 準備基金の取り崩
し、国で検討中の段階設定
や介護報酬の改定状況を勘
案して算定を進めます。

(質問) 高齢者の居場所づ
くりはどのように進んでい
ますか

「近所の人と世間話ができ
る身近な場所があったら
いいね」という声が聞かれま
す。高齢者の健康づくり、
文化的活動、介護予防など
も含め、居場所づくりにつ
いていただきました。

(回答) 今後、世代間交流
事業を実施する団体への財
政的な支援、介護予防の一
環としてeスポーツの導入
を考えています。



(平成30年〜令和5年)
の1号介護保険料の基準年
額は、7万2000円(月
額6000円)と6年間据
え置きとなっており、その
一方、介護保険会計の準備
基金は増加しています。第
9期(令和6年〜8年)の
計画においては、準備基金
の取り崩しも含め、保険料
の引き下げが可能ではない
のか。また、保険料は現在
基準額をもとに所得によつ
て9段階にわかれ、基準額
の0.3倍から1.7倍と
なっています。段階をさら
に細分化し、低所得・中間
層の割合を引き下げて負担
軽減を求めました。

あけみ日誌



春を告げる可憐な
紅梅を見つけました。
能登半島地震で被災
された方々が、一刻
も早く安らかな日常
生活を取り戻せるよ
うお祈り申し上げます。
現場では、水の
確保、トイレの設置、
医療、介護、道路復
旧と課題が山積して
います。「命を守る
ことが政治の役割」
この言葉を改めて心
に刻んでいます。
確定申告が始まり
ました。大企業・大
金持ちを優遇する税
金の集め方。被災地
支援、社会保障、子
育て・学生支援等よ
り 大幅な防衛費・
万博費用の増という
税金の使い方。見直
しが必要ではないで
しょうか。



(質問) 教員の働き方改革について

中央教育審議会の提言に基づき、本町の実態と見直す点は

一日の過密なスケジュールの改善、小学校高学年の教科担任制の導入や少人数学級の継続についてでした。

(回答) 課題となっている事は、部活動のあり方です。標準授業時数は大幅に上回っています。学校行事の見直し、校務の効率化を進めています。また教員のサポートスタッフも配置しており、毎月80時間を超える超過勤務の教員はいません。

リベルテホール和室解体がストップ —要望署名が届く

リベルテホールの和室と応接室を会議室にするための改修費3919万3千円の増額補正予算案が議会全会一致で否決されました。とりわけ和室については、解体して可動式の畳やバリアフリーの入口を設置する計画でした。

教育厚生委員会では、「会議室は不足してないのでは」「会議室に改修するだけなのに、費用が高すぎる」新沢あけみ議員は「お茶会ができるようなすばらしい和室を壊すべきではない」等反対の意見を述べました。また、質疑応答の中で、町は利用者の意向を全く聞いてなかったこと、事前に社会教育委員会で検討されてなかった事も発覚しました。

議会開会前には、和室を利用されておられる方々から「和室を壊さないで」「日本の文化を大切にしてほしい」と要望署名が届けられました。

今回の事案について、令和5年度当初予算で設計費が計上された際、検討が不十分であったと新沢あけみ議員は自戒しています。



(回答) 変更は考えていません。エアコン設置を検討しています。

(質問) 2学期の始業日について、気候のことも考慮し、9月1日(明日香・榎原・大淀・御所)に戻してはどうか。体育館にエアコンの設置を。

産業廃棄物撤去へ —土地開発公社へ補助金支出

兵庫地域にある高取町土地開発公社の土地に産業廃棄物が埋められていたことがすでに判明しています。今議会では、元土地所有者Y氏に産廃撤去を求めるため、弁護士費用112万円、水質検査費32万5600円の補正予算が可決されました。その他、敷地内の新たな不法投棄廃棄物の処理費63万3600円、くさり取り付け90200円も計上され、土地開発公社への補助金として、一般会計から支出する内容です。



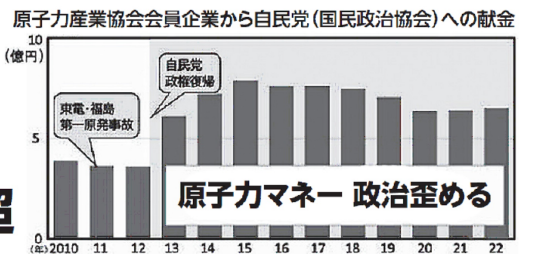
令和5年9月議会一般質問

①本町でも、断熱・省エネ・太陽光発電など脱炭素社会をめざす計画的な取り組みを
②兵庫地域にある土地開発公社土地の産業廃棄物問題について

不法投棄等に対する県の指導は、周辺地域の水質検査実施を、地元説明会をいつするのか
③令和6年度からの国民健康保険単位数化において、保険税額、基金の取り扱い等どのような影響があるのか、こどもの均等割・減収等に対する減免対策の拡充を

原子力協会が献金

自民党に10年間で70億円超



命より原発優先は許されない

能登半島地震で、北陸電力・志賀原発は外部電源が一部使えないなど「想定外」のトラブルが続出。日本共産党の笠井亮議員は7日の衆院予算委員会で志賀原発の廃炉、「原発ゼロ」を決断すべきだと迫りました。

なぜ政府は廃炉にしないのか——。笠井氏はその背景に「原発政策とカネ」があると告発しました。原子力関連企

業などでつくる日本原子力産業協会から自民党の政治資金団体「国民政治協会」への献金額は、10年間で70億円超。原子力産業協会は原発の早期再稼働や新增設などを要求しており、「多額献金は原発政策のカネによる売買で、政治をゆがめている。国民の命と健康、財産より原発優先など許されない」と批判しました。

安倍派5億円!? 岸田派、麻生派、二階派も...

自民党ウラ金疑惑 真相徹底究明を!

「しんぶん赤旗」日曜版の連続スクープが発端となった自民党の政治資金パーティーと裏金疑惑。前代未聞の金権腐敗事件です。
真実を伝える「しんぶん赤旗」あなたも是非お読みください